

ゆうゆうだより

新しい年を迎えるにあたって

現在、世界の経済は百年に一度と言われる大混乱の最中にあり、平成二十一年は、波乱気味の年になるかも知れません。しかし、福祉を無視して、社会の安定は有り得ません。

福祉・教育・研究の三者が、二十年後の社会の安定と発展を左右する重要な要素であると考えています。過去の約十年間は市場原理を重視し、前述の三者がやや軽視されて来たように思われます。しかし、今年に入り福祉関係の予算を増額する動きが始めており、大変に喜ばしいことだと思っています。近い将来、さらに充実したサービスが当施設でも可能になると期待されます。

当施設の職員諸君は、お年寄りの医療や介護を通じ、地域社会の福祉や安定に大きく貢献されています。諸君の努力には、心からの敬意の念を抱くとともに、感謝している次第です。しかし、教育や研究の方面では如何でしょうか。

昨年は四人の日本人がノーベル賞を受賞しましたが、これは二十〜三十年前の教育や研究の成果が漸く報いられた結果です。二十一世紀と言われており、認知症の克服が最重要課題になっています。当施設の職員諸君は認知症のご老人を直接にお世話している専門家であり、研究課題は身の回りに無数に存在しています。ノーベル賞級の研究は無理にしても、より良い医療・介護のためには、現場での実際に即した研究が不可欠です。

日々の仕事を単にこなすだけでは発展は望めません。職員諸君は、研究心や向上心を持って業務に当たって下さい。新しい年を迎えるにあたり、各自がそれぞれの目標ないしは夢を設定し、その達成に向かって努力されることを切に希望します。

施設長 小林 勉



明けましておめでとうございます。

寒い朝出勤直後の手で触れると『あらっ外寒かったんやねえ、ご苦勞様』『そんな冷たい手で触れられる身になってみられ、あんた方遠慮している人の気持ちも考えんにや』等、一つの行動に様々な形で応えて下さる方。

人間の欲を支援した結果、経済が混乱している今、長い人生で培った教訓や人としての思いやりを直に感じる事が出来る職場で働ける事に感謝しています。皆様、今年も御指導宜しく願います。

看護師長 奥田 一子



新年明けましておめでとうございます。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご厚誼を賜りまして、誠に有難うございます。

人生は思い出作りとも言います。勿論楽しい事ばかりの人生ではありません。ご自身の老いや病に向き合いながら時には泣いたり怒ったり、落ち込んだりしながらも、与えられた一日一日に感謝し、手を合わせられるご利用者様にいつも深い感銘を受けております。

今年もそんな皆様に一ページでも多く楽しい思い出を刻んで頂きたいと願ひ、試行錯誤しながら頑張っていきたいと思ひます。

最後になりましたが、御家族の皆様にとって幸多い一年でありますように心からお祈りすると共に、今後もご協力をよろしく願ひ申し上げます。

介護長 清水 祐子

収穫祭

皆で丹精したゆうゆう農園（畳二枚の広さ）のさつま芋が《大豊作》だったので、収穫感謝をして食べようという話になりました。職員も自宅で収穫した玉葱、大根、白菜、人参、里芋、じゃが芋、蕪等を持ち寄りました。

さて、調理にかかります。手を洗って割烹着と日本手ぬぐいで身支度で全員参加です。男子厨房に入らずの方も・・・。生まれて初めて包丁を握ったという方もいました。『オラ才能あるのおく』と発見している方もいました。女性はつい最近まで台所を預かっていましたから、切り方からおもてなしの心得までワイワイ意見が飛び交ってます。生き生きされています。職員は、手も口も出ません。

『ちよっと薄味でないけ？』・・・楽しい時間を過ごしました。『美味しいね、お代わりくれっけ？』レポーターも猫の額ほどの畑に是非何か育ててみたいと思いました。又、ご指導下さうい。

管理栄養士 上坂 優美子

立派やちゃ〜



オラにまかいとけ！！



こんなもんで、いいかの〜



私らにまかいとかれ。
ほっほっほっ (笑)



だしはやっぱり、煮干やちゃ♡



アンタ、指切られんや。



ここは、ワシらに
まかせなさい！！



たのしみ
やちゃ〜



臼と杵登場
ジャジャーン



懐かしい作業。
自然と笑顔がこぼれます。



アラ、お父さん
きつついちゃ〜



ビハーラの皆様の協力で、たくさんのお餅ができました。
(きなことアンコです)



新春餅つき大会



クリスマス会



職員のハンドベル演奏
音色がきれいです！！



松沢保育所の園児達が
踊りを披露です！！



お爺ちゃんクリスマス
プレゼントだよ♡



施設より園児達へ
お礼のプレゼント
『はい！ど〜ぞ』
『ありがとう』と元気な声！



内部研修 〈介護現場における接遇〉

十二月五日、元KNBアナウンサー経田博子氏を招いて接遇についての講習を開催しました。日頃利用者様の方と接してはいますが、上手くコミュニケーションをとれない事もあります。接遇の意味とは、接し方の良し悪しを評価するは相手であると学びました。相手を理解し、自分の感情パターンと、それぞれの特徴を知る事が大切です。自分の感情を知る方法として自己成長エゴグラムを行い、自分の表し易い感情、表現しにくい感情が客観的にわかりました。

今回外部講師を招きこのような研修を開催することが出来、今までの接し方を見直す事が出来ました。学んだ事を介護に活かし利用者の皆様に心地よく過ごしてもらえようように努めていきます。

教育委員長 萩野 和博



桂式 自己成長エゴグラム

※ 以下の質問に はい→○ どちらでもない→△ いいえ→×の印をつけてください。ただし、できるだけ○か×で答えるようにしてください。

No.	質問	
1	間違っただけに対して、間違いだと言います。	
2	時間を守らないことは嫌です。	
3	規則やルールを守ります。	
4	人や自分をとがめます。	
5	「～すべきだ」「～ねばならない」と思います。	
6	決めたことは最後まで守らないと気がすみません。	
7	借りたお金は期限までに返さないと気になります。	
8	約束を破ることはありません。	
9	不正なことには妥協しません。	
10	無責任な人を見ると許せません。	
11	思いやりがあります。	
12	人をほめるのが上手です。	
13	人の話をよく聞いてあげます。	
14	人の気持ちを考えます。	
15	ちょっとした贈り物でもしたいほうです。	
16	世話好きです。	
17	自分から暖かく挨拶します。	
18	困っている人をみると何とかしてあげます。	
19	子どもや、目下の人を可愛がります。	
20	何でも、何が中心問題か考え直します。	

このような、質問に答えて自分のマイナス面プラス面を知る事ができます。自分の性格を知りよい状態を利用者と接するときに活かすことができます。

編集後記

寒い季節を迎え、風邪などひかれないよう手洗い、うがいの励行をしましょう。今年度最後のゆうゆうだよりです。一年間、つたない編集でしたが、何とかやってこれました。来年度も宜しくお願いします。(津田克敏)